

## 大会宣言

1. 国民の政治への信頼が地に堕ちている。誰がどうみても、民主党政権が消費税増税法案を提出してくること自体がマニフェスト違反である。これに正面から向き合わず、野田総理が実施時期が任期後だから公約違反ではないという詭弁を弄する様は国民の政治不信を頂点に至らせる。
2. かつて、野田総理は「天下り法人に流れる血税に群がっているシロアリを退治しなければならない」「天下りや渡り、ムダづかいのからくりを残したまま消費税を上げて、砂漠に水をまくのと同じ」と強弁していた。しかし、役人天下りというシロアリも退治せず、今やシロアリ城の親玉と化した。みんなの党は「増税の前にやるべきことがあるだろう」というアジェンダをもって「増税暴走内閣」を打倒していく。
3. こういう中で、大阪では「維新」が始まった。地域主権改革、公務員改革、教育改革などについて、国がやらないなら大阪から始めよう！官僚統制・中央集権という日本の統治構造の歪みを正す行動は、みんなの党のアジェンダと一致している。みんなの党は、この動きを全国に広げ、みんなの維新を成し遂げる。
4. 本年は、衆議院議員総選挙があるといわれる。みんなの党結党以来、ホップ（参議院議員選挙）・ステップ（統一地方選）・ジャンプ（衆議院議員選挙）と位置づけてきた総仕上げの戦いである。
5. 選挙制度の抜本改革をやらないまま選挙に突入するならば、「自民党」と「できそこないの自民党」という民主党の2大政党による増税一門の八百長相撲を見せられる有権者は不幸だ。
6. 「増税・官僚統制・中央集権・原発続行」勢力に対し、「成長・脱官僚・地域主権・脱原発」という分かりやすい構図を描き、火の玉になって選挙を戦う。大ジャンプをすることを誓う。
7. みんなの党は、次期総選挙において事実上の首相公選制を提案していく。クルクル変わる総理は、野田総理をもって最後にしよう！

平成 24 年 1 月 28 日  
みんなの党大会  
参加者代表 水野 賢一